

小学校



小学校のキャリア教育=「進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期」

「小学校は、低学年、中学年、高学年と成長が著しく、社会的自立・職業的自立に向けて、その基盤を形成する重要な時期である。そのため、児童一人一人の発達に応じて、人、社会、自然、文化とかかわる体験活動を、身近なところから徐々に広げ、丁寧に設定していくことが大切である。」
(文部科学省「小学校 キャリア教育の手引き」)

かながわ版キャリア・パスポート「1 年度はじめ、学期はじめ」(P.13)

「3 行事の見通しと振り返り」(P.17)

小1

小2

小3

小4

小5

小6

「2 自己理解、自己肯定感を高める」(P.15)

「4 学期終わり、年度終わり」(P.19)

スタートとなる
小学校で身に付けたい
思考のサイクル

自分の成長を振り返る

自分の好きなどところを見つける

なりたい自分をイメージする

★ パスポートを「つなぐ」★

「小学生の私から、15歳の私へ」

小学校の6年間で振り返り、自分の成長を実感し、成長した理由を考えることで、自分自身を振り返り、今後の成長や意欲へとつなげます。



「5 校種をつなぐ」(リニューアル版)

今の自分発 → 未来の自分へ

小学生の私から 15歳の私へ	
小学生の私	年 組 名前
	月 日
★小学校6年間で、私ができるようになったこと、得意になったこと	
学習面	
生活面	
家庭や地域	
好きなこと・楽しいこと(習い事やしゅみなど)	
★今の私のよいところ・好きなどところ	
○将来の自分をイメージしよう!	
近い将来の目標 ・中学校生活はこんなスタートにしたい	少し先の夢 ・15歳(3年後)にはこんな私になっていた
・中学校1年目がんばりたいこと	・15歳の自分へのメッセージ
先生からのメッセージ	
保護者などからのメッセージ	

★ 6年間の歩みが今の自分・将来の自分へつながる実感を ★

これまで書き溜めてきた、キャリア・パスポートを見返しながら、児童自身が小学校6年間の具体的な場面を思い起こし、成長を実感しながら、今の自分を見つめます。6年間での成長を実感し、自己肯定感を高めて、近い将来の自分、少し先の将来の自分をイメージすることで、前向きに取り組むことができるように支援しましょう。

★ パスポートを応援ツールに! ★

先生や保護者などからのメッセージは、児童の成長を認めることで、自己肯定感を高めることにつながります。

児童が「自分は大事にされている、期待されている」と感じ、中学校への意欲をもてるよう、「応援」ツールとして活用しましょう。